

ふるさと納税寄付金の 主な活用事業（令和7年度）

当別町ではふるさと納税制度を活用して、町出身の方や町を応援したいという方から心のもったご寄付をいただき、様々なまちづくりに活用しています。

今回は、令和7年度の寄付金の活用事業を紹介します。

■問合せ セールス戦略課ふるさとプロモーション係（☎ 23-3042）

令和7年度寄付実績
18億1,476万4,600円
このうち

合計
9億4,967万4,947円を75事業で活用
※記載している事業費は、総事業費のうち
「ふるさと納税寄付金分」のみの金額です。

移住・定住促進施策

住宅購入支援金事業

5,630万円

当別町では、町外からの移住促進や町民の定住を目指して「住宅購入支援金事業」を展開しています。この事業は、令和4年1月1日以降に当別町内で新築住宅を購入された方を対象に「新築住宅購入支援金」を交付するものです。さらに、令和6年度からは中古住宅も支援の対象に加えることで、より幅広い層への支援を可能にしました。本事業は、移住者を増やし定住を促進することで地域の活性化を目指す取り組みの一環として位置づけられています。

令和7年度は、204名（新築住宅42件、中古住宅41件）に支援金を交付し、町外からの転入は149人でした。

今後も当別町では、この事業を通じて移住者や定住者を支援し、地域活性化を目指す取り組みをさらに進めていきます。

高等学校等生徒通学交通費助成事業

392万円

子育て世帯の経済的負担を軽減し町民の定住促進を図るため、公共交通機関を利用し通学する高校生の保護者に対し、通学定期券購入費用の一部を助成しています。

令和7年度は、町内から通学する高校生158名へ助成を行いました。

この助成は、保護者にとって大きな経済的支援となるだけでなく、若い世代が安心して教育を受けられる環境作りに寄与しています。

教育・子育て施策

学校施設改修工事・とうべつ学園水泳プール更新工事

2,562万円

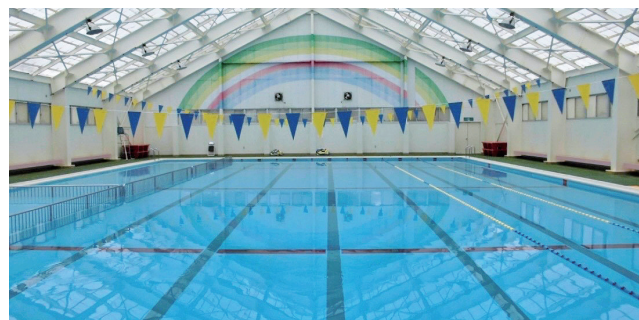
近年の猛暑や施設の老朽化、教育ニーズの多様化に対応するため、町内の学校施設の環境整備を進めています。

児童数の増加等により教室の手狭な状況が見られることから、西当別小学校では、既存の会議室を普通教室として活用できるよう改修し、広い教室の確保や空調設備の更新、LED照明の整備を行い、多様な学びに対応できる教育環境の改善を進めています。

さらに、生活様式の変化に合わせて和式トイレから洋式トイレへ改修し、児童生徒の負担軽減と利便性の向上を図っています。

加えて、とうべつ学園水泳プールについても、ろ過装置などの設備更新を行い、水質の安全確保と施設機能の維持を図ることで、安心して利用できる環境を整備しました。

この取り組みを通じて、より安心・安全な教育環境を整え、次世代を担う子どもたちの健やかな成長を支える基盤を整備していきます。



この他、子ども医療費助成事業（2,407万円）やスクールバス運営事業（7,860万円）、町の除排雪事業（4億円）などに活用しています。